

今 赤い羽根共同募金街頭キャンペーン 自分たちでできることをしよう

「赤い羽根共同募金」が10月1日に全国一斉に始まり、町内2ヶ所で小中学生たちが募金を呼びかけました。赤い羽根の募金は高齢者、障がい者、子どもたちなどへ地域の福祉活動を支援しようとスタートし、今年で65回目。今年のテーマは「じぶんの町を良くするしくみ」で、町の目標額はおよそ346万円です。

3日夕方から丸合西伯店やローソン会見店に、小中学校の福祉委員や共同募金会役員が「共同募金よろしくお願いします」と元気よく呼びかけ、募金頂いた方には赤い羽根と風船をプレゼントしました。



共同募金を呼びかける生徒(丸合西伯店)

こちら振興協議会

あいみ富有の里

自転車積み込みバス、10月から御内谷線へ ～第2期目の社会実験始まる～

会見地区両地域振興協議会が取り組む路線バス活性化策の一環として、10月から自転車積み込みができるバスの運行が始まりました。鳥取県内では初の取り組みで、自転車通学の高校生をはじめ、雨や雪、帰りが遅くなった時など多くの皆さんの利用が期待されます。

日ノ丸バス御内谷線は、会見地区と米子市内を結ぶ唯一の公共交通機関です。今後ともこの路線を維持、存続できるよう両協議会では御内谷線存続委員会を設け、昨年10月から半年間、第1期目の社会実験に取り組んできました。

第2期目の社会実験では自転車積込を中心に、来年3月末まで半年間の利用促進に取り組んでいます。自転車積込料金は毎回100円、社会実験期間中は高校生向けに割引乗車券を発行しています。



出発式の様子(10月3日)

東西町

訓練が役立った台風時の避難

9月3日の未明、台風12号の影響で大雨が降り東西町地区でも2ヶ所で土砂崩れが発生しました。

1軒の物置が崩壊し、住宅内にも土砂が流れ込みました。駆け付けた西部消防と相談し、午前6時5分、近くの家々に、安否確認協力委員と一緒に避難を呼びかけました。

避難所となっている東西町コミュニティセンターには多い時で160人の方が避難されました。東西町では、東日本大震災発生翌日から災害発生時の初動体制をどうするかを考え、安否確認協力委員などの組織化をし、2度の避難訓練を実施してきました。

この度も地区の多くの方から「9月1日に行った避難訓練のおかげで慌てることなく冷静に対応できた」などの声を聞きました。

土砂災害避難勧告発令【危険又は最悪協議会判断】	土砂災害避難指示の発令【危険】
1 避難所へ集合	避難所へ集合
2 放送	放送
3 安否確認	安否確認
4 避難所対応	避難所対応

土砂災害避難勧告発令後の初動対応表

なんぶSANチャンネル

で 新年のあいさつしませんか？

あなたの今年の抱負、年始の挨拶などをSANチャンネルで発信してください！
放送期間は元旦から5日間！辰年さんはじめ、町内にゆかりのある方ならどなたでも出演できます。詳しくは下記までお問い合わせください。

【申込・問合せ先】なんぶSANチャンネル ☎66-3331 FAX66-3316

メール nanbusan@town.nanbu.tottori.jp

申込期限
12月16日